

モバイル網固定電話の技術的条件に関する検討作業班（第1回） ホームプラス電話のサービス概要

KDDI株式会社

令和7年9月30日

1

ホームプラス電話のサービス概要

2

ホームプラス電話とワイヤレス固定電話との差分

3

制度化にあたっての要望

1. ホームプラス電話のサービス概要

- ホームプラス電話は、光ファイバーやケーブルといった固定回線の代わりに、VoLTE（LTEネットワーク上で音声通話を実現する技術）と高品質IPネットワークとを組み合わせ提供している固定電話サービスです。
- 固定回線が必要なサービスのエリア外であってもWi-Fiルータ、auスマートフォン・auケータイと組み合わせおトクにご利用いただけます。
- もちろん従来の電話サービスと同様に、市内電話、市外電話、国際電話、IP電話への通話、携帯電話・PHSへの通話、緊急通報（110番、118番、119番）もご利用いただけます。

Point
1

**基本料も通話料も
おトク!**

ホームプラス電話なら、月々の電話基本料がおトク。
通話料も、県内市外や県外はもちろん、国際電話、携帯電話あても割安な料金でご利用いただけます。

Point
2

**電話番号(*)も
電話機もそのまま!**

今までのお使いの電話番号や、電話機をそのままご利用いただけます。

※ 現在の電話番号を継続してご利用いただけない場合や、現在固定電話のご契約がない場合は、KDDIより新しい電話番号を提供いたします。

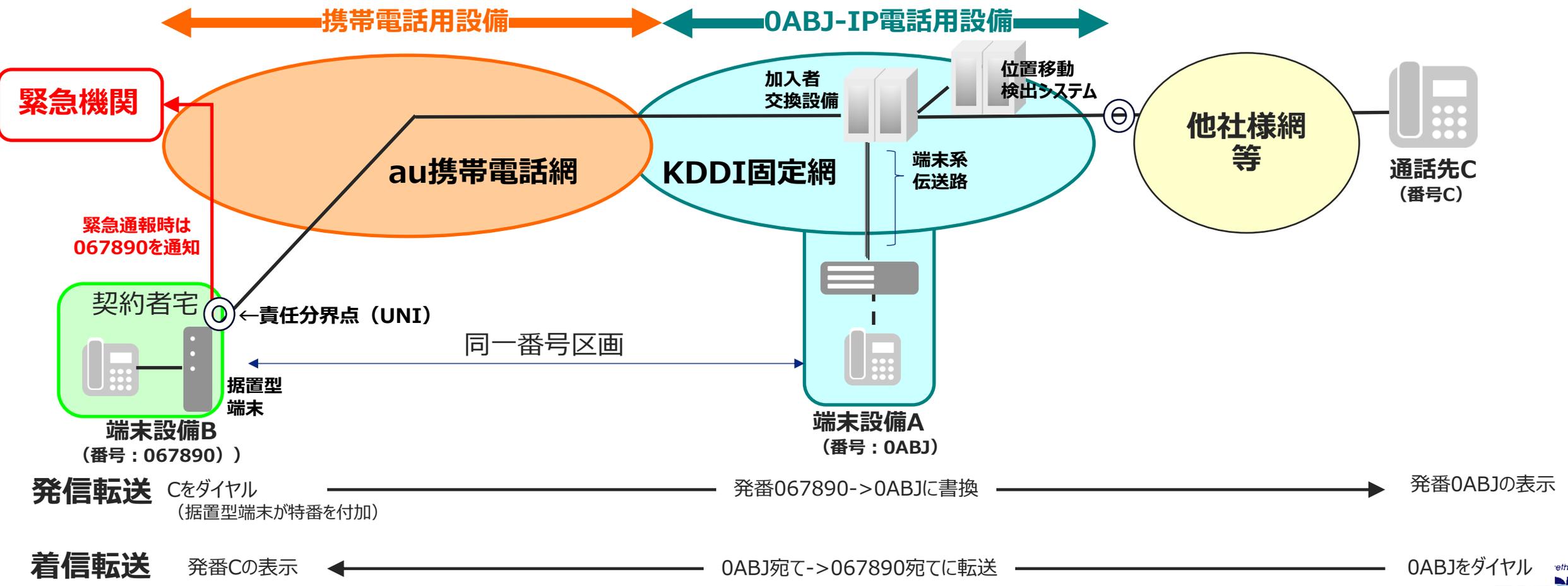
Point
3

**便利なオプション
サービスもいろいろ**

電話を安心して便利に使える、多彩な付加サービスをご用意しています。

1. ホームプラス電話のサービス概要

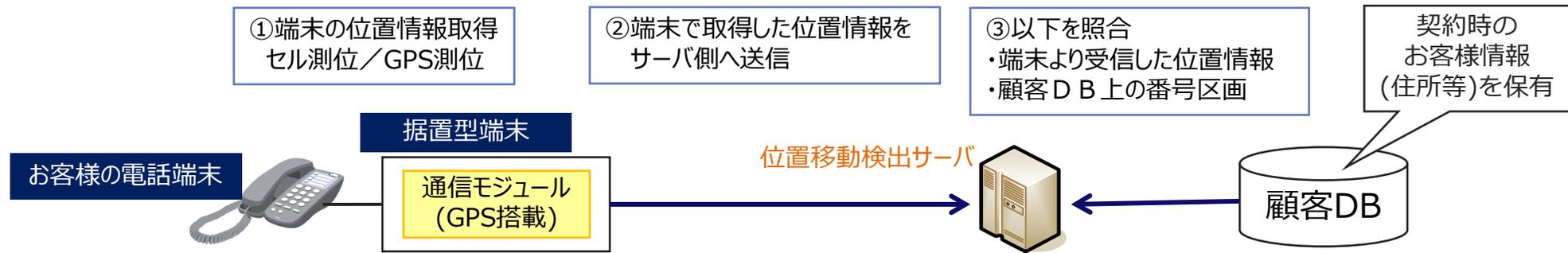
- ホームプラス電話は、au携帯電話網区間（＝携帯電話用設備）とKDDI固定網区間（＝0ABJ-IP電話用設備）を組み合わせた、電話転送役務として提供中。
- 一般呼は067890⇔0ABJの変換を実施。
- 緊急呼は発信転送方式ではなく、契約者宅の据置型端末から携帯電話として発信。（067890番号を緊急機関へ通知）



1. ホームプラス電話のサービス概要

位置固定方式

本サービスの提供においては、**据置型端末にGPS機能**を搭載し、お客様情報(顧客DB上の番号区画)と据置型端末の位置情報を照合することで、**据置型端末の移動状況を監視**し、初期契約時の住所と異なる場所に所在が発覚した際は発番号表示の停止、サービス停止等の措置を実施しています。



端末との接続インタフェース

✓ 据置型端末とお客さまの電話端末間は、モジュラーケーブルを利用して接続を行います。(アナログ電話と同等)

接続可能な端末の条件

- ✓ 端末設備等規則を満たす固定電話端末であれば、原則どのような端末でも利用可能です。
- ✓ 但し、緊急通報などを行う自動通報装置(電話機)などではご利用いただけません。

1. ホームプラス電話のサービス概要

利用する通信プロトコル

音声通話の通信プロトコルは、SIPを利用しております。

各機能

| 機能 | 詳細 |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| 緊急通報 | 緊急通報は携帯電話として発信する。 緊急機関の指令台には、据置型端末の位置情報（緯度経度）及び電番（067890番号）を通知。 |
| 品質 | 固定電話網と携帯電話網を介するサービス。携帯電話網と同等の通信品質は確保。 インターネット区間転送はない状況。 |
| 海外からの発信 | サービスそのものが海外使用不可。 |
| ファクシミリ | ネットワーク蓄積型で提供 |

提供エリアについて

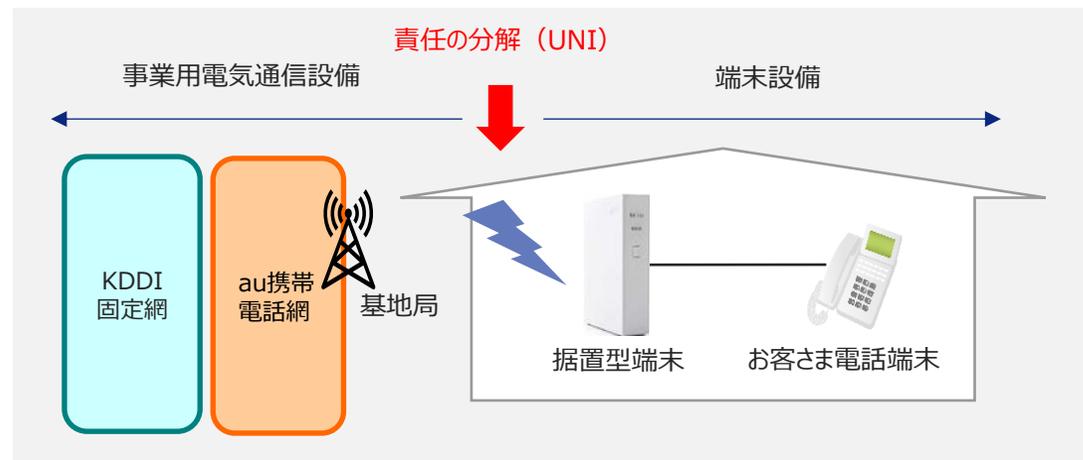
番号区画ごとに端末系伝送路設備の設置が必要となるため、ホームプラス電話のサービス可能範囲はauの電波が届き、かつ弊社が当該端末系伝送路設備を設置可能なエリアとなります。

2. ホームプラス電話とワイヤレス固定電話との差分

ワイヤレス固定電話との差分

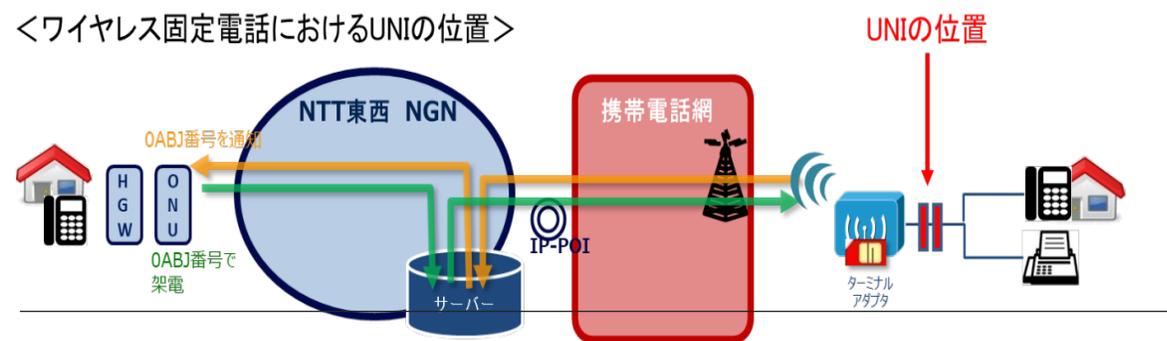
| サービス | 方式 | 携帯網の位置付け | 品質 | 緊急通報 | 責任分界点 |
|-----------|-------|---------------------|-------------------------------------|-----------|-----------------------|
| ホームプラス電話 | 転送電話 | 転送第1呼区間 (067890) | 固定網区間：IP電話の基準を遵守 携帯電話網区間：自主基準を遵守 | 携帯電話と同等 | 据置型端末と基地局の間（無線区間） |
| ワイヤレス固定電話 | ネイティブ | 端末系伝送路相当 | ワイヤレス固定電話専用の基準を遵守 | アナログ電話と同等 | 宅内装置(ターミナルアダプタ)と電話機の間 |

ホームプラス電話の責任分界点



ワイヤレス固定電話の責任分界点

<ワイヤレス固定電話におけるUNIの位置>



※第1回ワイヤレス固定電話検討作業班NTT説明資料(令和2年6月12日)より抜粋、一部加工

3. 制度化にあたっての要望

通信品質

- ✓ 携帯電話相当（自主基準）を要望します

緊急通報

- ✓ 携帯電話相当を要望します。

責任分界点

- ✓ 携帯電話相当（携帯電話基地局と宅内装置(TA)の間）を要望します

その他

- ✓ 宅内装置(TA)がお客様責任設備となる前提で、電源供給・監視信号に関する規定は適用除外されることを想定しております
- ✓ 転送電話方式では、サービス提供するお客様と同一番号区域内のNW局舎内に回線及び端末設備(EGW)を設置する事が必須となっていますが、これが負担となっており、将来的にモバイル網固定電話のサービス維持が困難になる事も想定されますので、設置不要とする等の緩和措置を要望します

「つなぐチカラ」を進化させ、
誰もが思いを実現できる社会をつくる。

KDDI VISION 2030

